

令和5年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」

大阪市立海老江西幼稚園

令和6年2月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本園は、全園児 18 名の小規模園である。各学年単学級で少人数クラスのため、友達関係を広げる難しさがある。そのため、教師が意図的に人間関係を広げる機会をもち、いろいろな人と関わる力を育む活動を取り入れた教育を進めている。また、併設園であることを生かし、小学生との交流活動の充実、小学校教員と連携した安全教育を推進している。

しかし、園庭使用時間に制限があることや園舎内に空き部屋がなく本棚を置くスペースも限られ、就学前教育カリキュラムに沿った運動遊びや読書活動をどのように推進していくかが大きな課題である。安全教育や読書活動、基本的生活習慣の確立など、保護者への啓発に努め、家庭と連携して進めていくことで、より成果を高めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。
- ② 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。
- ③ 令和 7 年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人の親しみや関わることを喜んでいますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 90 % 以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- ① 令和5年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を75%以上にする。
- ② 令和5年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- ① 令和5年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。
- ② 令和5年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- ① 令和5年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。
- ② 令和5年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。
- ③ 令和5年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

今年度は地域との交流を再開することができ、いろいろな人と関わる機会をもつことができた。また、園内では少人数の良さを生かし、異年齢交流の充実を図ることができた。人と関わる経験から思いやりの気持ちや相手に受け入れてもらう喜び等を感じ、人への親しみや憧れの気持ちを育むことができた。保護者に対しても日々の子どもたちの姿を降園時やホームページで丁寧に知らせたり、保護者も園行事に参加し子どもの姿を見ていただいたりし、年度末アンケートでは全て肯定的な回答を得ることができた。

今後も子どもたちにとって様々な経験が積み重なるようにし、保護者や地域へも園の教育内容の発信や理解を促していきたい。

(様式 2)

大阪市立海老江西幼稚園 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 今年度末の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 75 %以上にする。</p> <p>② 今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を 75 %以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>安全に過ごそうとする気持ちを育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な想定と実態に即した避難訓練や安全指導を、年 6 回以上実施する。 ・安全に関する視覚教材を年 3 回以上掲示し、身の守り方について知らせる。 	B
<p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>子ども一人一人の実態を把握し、互いの良さを認め合えるような指導を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育園内委員会を学期に 1 回実施し、専門的な知識を深める。 ・毎日の子どもの様子を、教職員間で情報共有する。 ・「いいとこみつけ」を活用し、子どもの情報共有をする。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度評価】について</p> <p>① 1月の保護者アンケート調査で「子どもは生活の中で安全に過ごそうとする習慣が身に付いてきたと思いますか。」という項目についての回答が、「そう思う」 56 %、「どちらかといえばそう思う」 39 %、合計 95 %であった。</p> <p>② 1月の保護者アンケート調査で「幼稚園は子どもたちが互いの良さを認め合えるような指導をしていますか。」という項目についての回答が、「そう思う」 78 %、「どちらかといえばそう思う」 22 %、合計 100 %であった。</p>
<p>【取組内容】について</p> <p>① ・火災・地震・津波・引き渡し訓練・防犯等の想定で年 6 回避難訓練をした。今年度は幼小合同避難訓練を 2 回実施できたことで小学生の避難する姿を見ながら、避難する方法が理解できた。様々な想定や 1 月の能登半島地震を知り、子ども自身も自分の身の安</p>

全をどのようにして守ればよいのかを考え、行動できた。

- ・安全意識を高める掲示物を掲示したり、引き渡し訓練の実施や毎回の避難訓練での様子を知らせたりするなど、保護者にも安全対策の周知や共有をすることができた。
- ・毎月、教職員2名以上で園内の安全点検を行い、安全な環境の確認や見直しに努めた。

- ②
- ・特別支援教育園内委員会は当初の予定通り、学期に一回実施した。加えて、外部の巡回相談や療育機関との連携やアドバイスをいただき、教職員間で子どもの実態について情報を共有したり、支援方法や関わり方についての共通理解を図ったりする機会となり、より子ども理解を深めることができた。
 - ・中間評価時に引き続き、日々の子どもたちの様子を教職員間で情報共有することができた。また、話し合ったり相談し合ったりすることで、教職員全員で子どもたちを見守る体制や環境を整えた。

今後への改善点

取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

- ・今後も様々な想定の避難訓練を実施し、子どもたちも教職員も安全への意識を高めていく。
- ・教職員間で避難の仕方や安全対策について共有し、連携を図っていく。

取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】

- ・来年度も引き続き、特別支援教育園内委員会を実施し、支援の方法や関わり方について共通理解したり、学び合ったりする機会をもつ。また、今年度作成した個別の教育支援計画・個別の指導計画の引継ぎを行い、次年度に生かす。
- ・毎日の子どもの様子の情報共有について、引き続き積極的に実施し、園全体で子どもを見守つていけるように環境を整える。今後はさらに情報共有を密に図っていくために「いいとこみつけ」を活用していく。

大阪市立海老江西幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。</p> <p>②今年度末の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身に付いたと感じますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向3 幼児教育の推進の質の向上】</p> <p>【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>就学前教育カリキュラムに基づき、集会遊びや保育環境の見直し、充実を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流活動が深まるよう教材研究をし、月3回以上実施する。 ・子どもの実態や時期に合わせて保育環境を学期に1回以上、見直す。 	A
<p>取組内容② 【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>子どもたちに基本的な生活習慣が身に付くように指導、啓発を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、基本的な生活習慣（食育等も含む）に関する保健指導を行う。 ・学期に1回げんき週間、年6回げんきカレンダーを実施する。 ・ほけんだよりやH P等を通して、保護者啓発を行う。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【年度評価】について</p> <p>① 1月の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが様々な経験を楽しめるように努めていますか。」という項目についての回答が、「そう思う」83%、「どちらかといえばそう思う」17%、合計100%であった。</p> <p>② 1月の保護者アンケート調査で「年度当初と比べて子どもは基本的な生活習慣が身についたと感じますか。」という項目についての回答が、「そう思う」72%、「どちらかといえばそう思う」28%、合計100%であった。</p>
<p>【取組内容】について</p> <p>① ・教材研究をした体操やふれあい遊びなどを作ったり、絵本と一緒に見たり、製作遊びを作ったりし、月3回以上の交流の機会をもち、異年齢の関わりを充実させることができた。教材研究したものは以下の通りである。</p> <p>体操・ふれあい遊び：「からだ☆ダンダン」「ぱん！ぱん！ぱん！」「だんごむしたいそう」「ゆらゆらブランコ」「昆虫太極拳」「かもつれっしゃ」「バナナくんたいそう」</p>

「ホットケーキ」「せんたく」「エビカニクス」「ラジオ体操」「おふろやさんにいこう」「ペンギンのプールたいそう」「月夜のポンチャラリン」「かってもまけても」「やきいもグーチーパー」「どうぶつたいそう 1・2・3」「秘伝！ラーメン体操」「ぎゅつぎゅつぎゅつ」「サンタッタ」「ジングルベル」「こすれこすれ」「おしりフリフリ」「誕生日なかま」等

絵本：「100かいだてのいえ」「そら100かいだてのいえ」「ぐらぐらゆいたらだんごむし」「たぬきのおつきみ」等

製作遊び：リースづくり、折り紙遊び等

・5歳児が考えたお祭りごっこに4歳児を誘い、一緒に遊ぶ機会を設けた。次第に、4歳児が5歳児の刺激を受けて、4歳児の保育室に「工作コーナー」をつくって誘う姿も見られている。他にも、生活発表会の取り組みを互いに見合う機会を設けたことで、互いのクラスの遊びをやりたい思いをもち、5歳児が4歳児に、また、4歳児が5歳児に教えながら、劇遊びや合奏、楽器遊び、歌などを楽しんだ。互いのクラスで楽しんでいる遊びを知らせたり、共有したりできるような機会をもち、普段の生活や遊びの中で、自然に異年齢交流の機会をもてるよう保育を進めてきた。

・子どもたちの実態に合わせ、保育室や廊下、プレイルームなどの遊ぶ場の環境を見直したり、つくり替えたりしながら保育を進めてきた。教師が環境を整えるばかりではなく、子どもとどのような場にしたらよいかを話し合い、子どもと共に環境を整えることも意識した。

②・年間を通して、発育測定や体重測定後に保健指導をした。具体的な内容としては、4月は「手洗い・うがい」、「服のたたみ方」、5月は「トイレの使い方」、6月は「よく噛んで食べること」、「歯みがき」、7月は「熱中症予防」、8・9月は「靴の履き方」、10月は「箸の持ち方」、11月は「3色食品群」、12月は「せきエチケット」、1月は「手洗い・うがい」、2月は「排便」についての保健指導をした。また、保健指導後には、保健室前に教材を掲示することで、日常的に見たり、触ったりできるように工夫したことで、指導時だけでなく継続して子どもたちが健康に関する興味・関心をもてるようにした。

・6月、11月、2月の各学期に1回げんき週間を設定し、「歯みがき」や「仕上げみがき」、「排便チェック」などの内容でカレンダーを作成し取り組んだ。この週間を活用して、親子で日々の生活を振り返ることで、幼稚園だけでなく家庭とも連携し、子どもたちがより良い生活習慣を身に付けることができるようとした。

・毎月、保健指導と関連する内容や、その月に特に保護者に伝えておきたい内容でほけんだよりを作成し、配付することで保護者啓発を行った。また、保健指導後に幼稚園のHPを更新し、保健指導の様子や子どもたちの姿を知ってもらうができるようにした。

今後への改善点

取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進の質の向上】

- ・来年度も、自然な異年齢交流活動が充実するよう、取り組んでいく。
- ・環境の見直しについても、子どもの実態や発達に合わせ、引き続き意識し、教職員で連携して取り組んでいく。

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- ・来年度も子どもたちが日常生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くように、保健指導

やげんき週間、げんきカレンダーを実施する。また、ほけんだよりやＨＰなどで保護者啓発も継続して行い、保護者とも連携することで、子どもたちが自分自身の健康に関心をもち、健康に過ごそうとする姿を育むことができるようとする。

大阪市立海老江西幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①今年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。</p> <p>②今年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。</p> <p>③今年度末の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人の親しみや関わることを喜んでいますか。」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」との回答を80%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>一人一人が大切にされるクラス運営や関わりを大切にした保育技術の向上に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年3回以上、実践記録をとり、幼児理解に努める。 園内研究保育を年3回実施し、保育技術の向上に努める。 週に1回、保育の打ち合わせをする。 	A
<p>取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>豊かな感性を育めるよう絵本に親しむ機会をもつ。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 週に3回、絵本の読み聞かせをする。 週1回絵本貸し出しを行い、絵本に親しめるようにする。また、月末に親子で絵本を借りる機会をつくる。 絵本コーナーの環境を定期的に見直す。 	A
<p>取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>家庭や地域と連携しながら、いろいろな人に親しみをもち、関わる喜びや力を育む活動を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学期に2回以上、様々な人と交流する機会をつくる。 親子で活動する機会を工夫する。（親子あいさつ当番、親子ふれあい苗植え等） 	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度評価】について

- ① 1月の保護者アンケート調査で「幼稚園は子ども一人一人を大切に理解しようとしていますか。」という項目についての回答が、「そう思う」61%、「どちらかといえばそう思う」39%、合計100%であった。
- ② 1月の保護者アンケート調査で「子どもたちは絵本に関心や親しみをもっていますか。」という項目についての回答が、「そう思う」94%、「どちらかといえばそう思う」6%、合計100%であった。
- ③ 1月の保護者アンケート調査で「子どもたちはいろいろな人と関わる中で、人への親しみや関わることを喜んでいますか。」という項目についての回答が、「そう思う」89%、「どちらかといえばそう思う」11%、合計100%であった。

【取組内容】について

- ①
 - ・実践記録を、4・5月に2回、6・7月に1回とり、職員間で、協同性について話し合い、幼児理解に努めた。普段のクラスの遊びや活動の充実が異年齢の関わりの深まりにつながり、互いに刺激を受けて協同性につながっていたり、発達や一人一人の子どもの実態によって教育的意図をもった働きかけを考えしていく必要があったりすることを学んだ。
 - ・10月に指導要請、12月と2月に各クラスの園内研究保育を行い、年間で3回の研究保育を行った。指導要請では、普段楽しんでいる遊びをもとに、子どもたちの実態や遊びの様子を共有しながら保育案を作成し、より子どもたちが楽しめるよう、環境構成や教師の関わりなどについて、教職員間で検討し、保育技術の向上に努めた。研究保育実施後は、反省会を行い、一人一人の子どもの姿や成長を共有したり、教師の教育的意図をもった働きかけについて検討したりし、教職員の資質向上につなげた。
 - ・週に1回以上、保育の打ち合わせを実施し、互いの保育の流れを知ったり交流の機会をもてるように調整をしたりした。また、保育の打ち合わせ時だけでなく、普段から、教職員間で子どもの様子や遊びなどを共通理解することを心がけた。
- ②
 - ・積極的に絵本の読み聞かせを行い、週に3回以上実施することができた。読み聞かせをする絵本は絵本当番の子どもが自分の好きな絵本を選んだり、教師が季節や行事に合わせたものを選んだりした。絵本を通して様々な事を知ったり気付いたりし、より絵本に親しみや興味がもてるようになった。
 - ・計画通り週に一回絵本貸し出しを行った。また、月に一回は親子絵本貸し出しを行い、保護者の方と一緒に選んだ絵本を楽しむ機会を設けた。絵本カードを通して、家庭でどんな様子で絵本を楽しんだり、親しんだりしているのかが分かった。
 - ・ボランティアの方による『おはなしの会』を実施し、いろいろな絵本や紙芝居を読み聞かせをしていただいたり、図書館の絵本配本で、園内にある絵本以外にも触れられたりする機会をつくったりし、さらに興味や関心を高めることができた。
 - ・小学校の図書室を活用することができ、園内にない様々な絵本やお話を触れ合う機会をもつことができた。
 - ・定期的に絵本の入れ替えを行い、季節や行事に沿ったものを選んだり、子どもの興味を引くような絵本を用意したりし、子どもたちが自分自身で選んで手に取りやすいように環境を整えた。

- ③・未就園児7回、保育所2回、小学校20回、中学校1回、歯科衛生専門学校1回、地域の祭り1回、長寿会3回、計35回交流活動を行った。コロナ禍で制限されていた地域との交流活動も再開でき、いろいろな人と関わる機会をもったり、地域を知ったりすることができた。未就園児活動については、園児との交流を楽しみにする未就園児の参加人数も回を重ねるごとに増えた。
- ・年間を通じて小学校との交流（毎月の歯みがき見守り隊の歯みがき指導、合同運動会や合同避難訓練、音楽鑑賞会、作品展鑑賞、たこあげ、海西フェスティバル、1年生との交流等）が充実でき、小学生を身近に感じたり、信頼や憧れの気持ちが強くなったりした。交流後には手紙を届ける等、交流を続けることもより小学生への親しみを高めた。
 - ・親子遠足、親子苗植えや親子あいさつ当番等、保護者も一緒に参加する行事や月1回以上の参観の実施で、親子で楽しむ機会や園行事の楽しさを保護者も一緒に楽しんでくださることが、園児の周りに関わろうとする気持ちを高めることができた。また、保護者が様々な行事に参加する中で、自分の子どもだけでなく、他の子どもを知る機会にもなり、園全体で子どもたちを温かく見守る雰囲気ができた。

今後への改善点

取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・来年度も園内研究保育を実施し、保育技術の向上に努め、一人一人を大切にした保育を心がけていく。
- ・今後も、保育の打ち合わせを行い、互いの保育を把握し、連携を取りながら、園全体で子どもたちを見守り、保育を進められるよう努める。

取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】

- ・今後も子どもたちが引き続き絵本に興味関心をもてるよう、絵本の入れ替えを定期的に行い、季節に合った絵本や行事の絵本を用意する。
- ・絵本の読み聞かせを積極的に行い、絵本と触れ合う時間を多くもてるよう努める。

取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- ・今後もいろいろな人への親しみや関わる喜びを感じられるような活動内容を工夫し、人と関わる中での心の育ちを育む。